

ビデオIRライト

Video IR Light

Lampe vidéo IR

红外线摄像灯

取扱説明書/Operating Instructions/Mode d'emploi/Manul de instrucciones/使用说明书

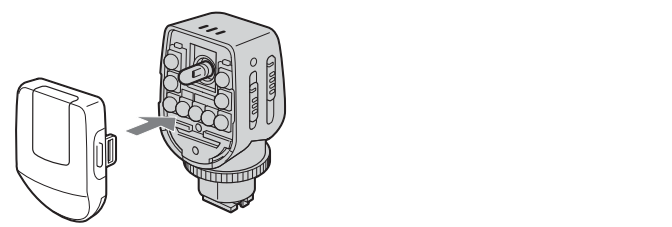
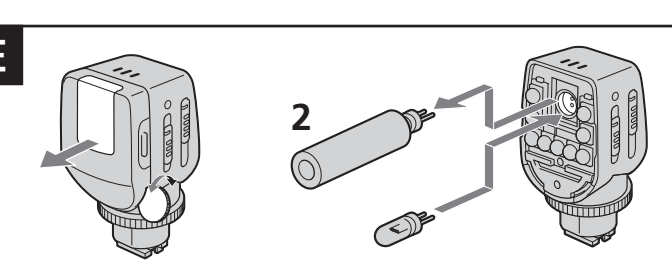
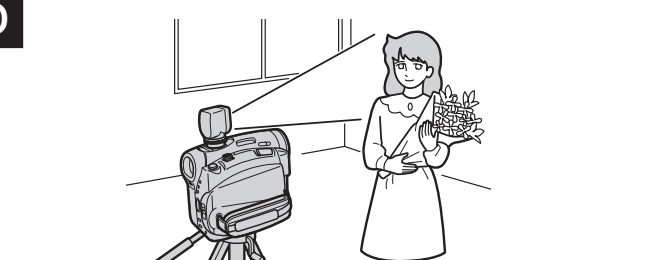
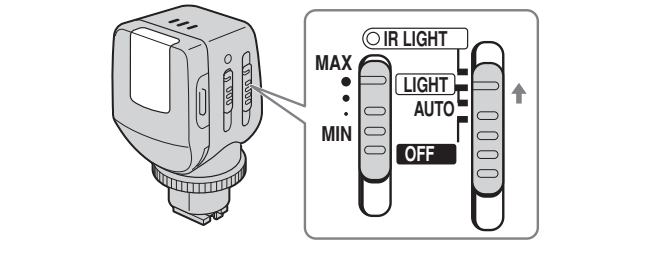
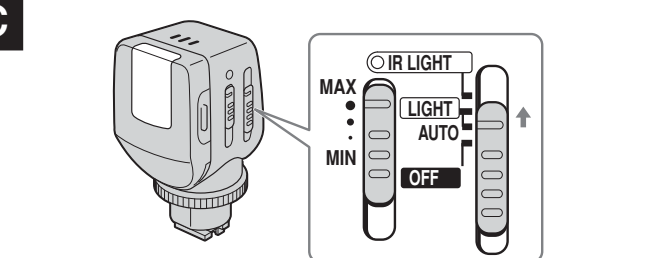
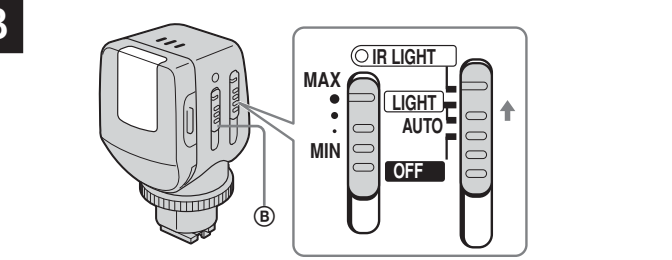
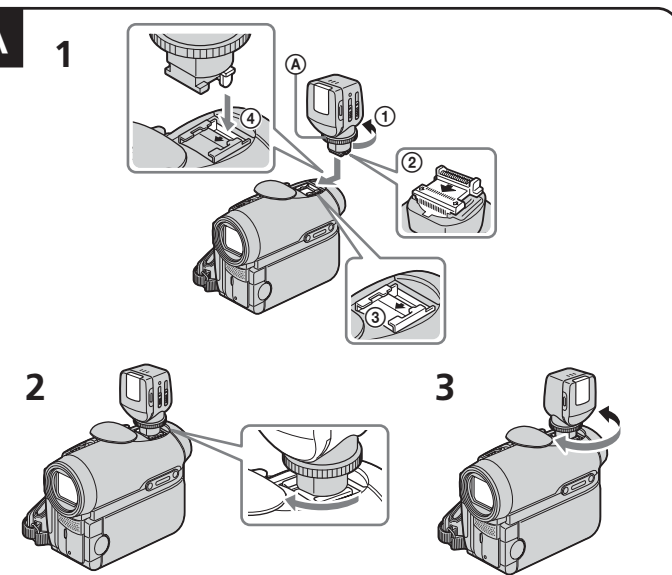
HVL-H1RL

©2005 Sony Corporation Printed in Japan

警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この**取扱説明書をよくお読み**のうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

<http://www.sony.net/>

この説明書は、古紙70%以上の再生紙と、VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed on 70% or more recycled paper using VOC (Volatile Organic Compound)-free vegetable oil based ink.

日本語

Active Interface Shoe

このマークの商品は、ソニー（株）のビデオ機器のアクティブインターフェース・システムに対応しています。このシステムを搭載したビデオ機器とアクセサリを組み合わせることで、目的に合わせた効果的な撮影が簡単にできます。

警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることが危険です。事故を防ぐために次のことを必ず守ってください。

- 安全のための注意事項を守る
- 故障したら必ず、お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターに修理を依頼する
- 万一、異常が起きたら

変な音におい
→ ●ビデオカメラの電源を切る
●お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターに修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号	行為を禁止する記号

警告

下記の注意事項を守らないと、**火災などにより死亡や大けがの原因となります。**

点灯したまま放置しない
放置したまわりの状況によっては火災の原因となる場合があります。使用しないときは必ずビデオカメラの電源スイッチを「OFF」にしてください。

ビデオカメラに取り付けたままケースに収納しない
万一誤ってビデオカメラの電源スイッチおよび本機のスイッチが「ON」になると、発煙、発火の原因となる場合があります。

点灯中と消灯直後のランプにさわらない
ランプ及びその周辺は非常に高温になるのでやけどの恐れがあります。ランプの交換や収納は充分に冷えてから行ってください

指定以外のランプは使用しない
火災の原因となります。

放熱孔をふさがない
内部の温度が上がリ、火災や故障の原因となります。

紙や布などの燃えやすいものを近づけない
火災の原因となります。

湿気やほこりの多い場所では使わない
火災の原因となる場合があります。

アルコールやベンジンなど揮発性、引火性の高い薬品を近づけたらライトの近くに置いたりしない
発火、発煙の恐れがあります。

分解しない
分解したりすると火災や故障の原因となります。内部の点検などはお買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

内部に液体をこぼしたり、燃えやすいものや金属類を落とさない
そのまま使用すると、火災や事故、故障の原因となります。

注意

下記の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

熱くなったガラスに水などをかけない
破損し、けがをすることがあります。

点灯中のランプを直接見ない
強力な光は目をいためる恐れがあります。

主な特長

- ビデオカメラに取り付けて使う、IRライトと3Wビデオライトの機能を兼ね備えた、1台2役のビデオIRライトです。
- アクティブインターフェース・システム搭載のビデオカメラに対応しているため、電源はビデオカメラ側から供給できます。
- ビデオライト部は、ビデオカメラのスタンバイに連動して電源のON/OFFができます。また、暗くなると自動的に点灯するAUTO機能を備えています。
- IRライトはナイトショット（プラス）付きのビデオカメラに対応しています。ナイトショット（プラス）の撮影可能距離を高めることができます。

取り扱い上のご注意

- 点灯中のライトにショックを与えないでください。ランプが切れたり寿命が短くなったりすることがあります。
- 本機を持って、ビデオカメラを持ち上げないでください。
- バッテリーをビデオカメラと共通に使用していますので、ビデオIRライト使用時は、撮影時間が通常撮影時より短くなります。
- 本機をご使用の際、「インフォリチウム」バッテリーと「インフォリチウム」対応のビデオカメラをご使用の場合、ビデオカメラのバッテリー残量表示が正しく表示されないことがあります。
- 使用中、保管中にかかわらず次のような場所に置かないでください。故障や変形の原因となります。
 - 炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内のように異常に高温になる場所
 - 直射日光の当る場所、熱器具の近く
 - 激しい振動のある場所

お手入れのしかた

時々、柔らかな布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤溶液を少し含ませた布でふいてから、もう一度からぶきしてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げをいためますので使わないでください。

主な仕様

IRライト部	DC 7.2 V
電源電圧	約2.6 W
消費電力	ナイトショット（プラス）：約7 m
撮影可能距離	ズームテレ端時）スーパーナイトショット（プラス）：約20 m

IRライト点灯時連続録画時間

モード	ファインダーで撮影時 (DCR-HC90使用時)	液晶画面で撮影時 (DCR-HC90使用時)
バッテリー NP-FA50	約45分	約40分
NP-FA70	約90分	約80分

（上記はそれぞれのバッテリーが充分に充電されている場合の、おおよその時間を示しています。）

ビデオライト部	7.2 V
電源電圧	約3.6 W
消費電力	DC 6 V/3 W
ハロゲンランプ	約100 cd
最大光度	水平
照射方向	約15度
照射角度	

モード	ファインダーで撮影時 (DCR-HC90使用時)	液晶画面で撮影時 (DCR-HC90使用時)
バッテリー NP-FA50	約35分	約30分
NP-FA70	約70分	約60分

（上記はそれぞれのバッテリーが充分に充電されている場合の、おおよその時間を示しています。）

撮影距離
1 m：約100ルクス、2 m：約25ルクス、3 m：約11ルクス、3,000 °K
約100時間

最大外形寸法
約40 × 約38.5 × 約60.5 mm（幅／高さ／奥行）
質量
同梱物
ビデオIRライト（1）、ポーチ（1）、印刷物一式

本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

A 取り付け

ビデオカメラに取り付ける／取りはずす際は、本機の電源スイッチが「OFF」の状態で行ってください。

- 本機の固定つまみ④が反時計方向①に回りきっているか確認する。
- 本機の裏面にある矢印②とビデオカメラにある矢印③の方向をあわせる。
- 本機のシューコネクタ（端子部）をビデオカメラ凹部④にはめ込み、矢印⑤の方向にスライドさせる。
- 固定つまみをカチッと音がするまで時計方向に回し固定させる。
- ビデオカメラのレンズの方向にあわせて、本機を回転させる。
本機は180度以上回転します。

取りはずすとき
1 固定つまみを反時計方向に回してゆるめる。
2 上から押しながら取り付けた方向に反対に引き出してははずす。

ご注意
本機が差し込めないときは、固定つまみをともまだ反時計方向に回してください。固定ロックが解除されます。

B 暗闇で撮影する（IRライトを使う）

ビデオIRライトはナイトショット（プラス）付きのビデオカメラで使えます。ナイトショット（プラス）機能の詳しい操作については、お手持ちのビデオカメラの取扱説明書をご覧ください。

- 本機の電源スイッチを「IR LIGHT」にする。
- ビデオカメラのNIGHTSHOT(PLUS)スイッチを「入」にする。
本機側面のLEDが点灯します。
- 画面を見ながら切り換えスイッチ⑥をスライドさせて、明るさを調節する。
3段階に調節が可能です。

ヒント
• ビデオカメラのメニューで「NSライト」を「入」にすると、ビデオカメラに内蔵のIRライトも点灯します。
• 明かりのない場所でのIRライトと被写体の距離は、約2メートル以上が目安です。近すぎると、被写体とIRライトのあたる位置とがずれます。ただし、撮影の状態によって変わりますので、手順3で撮影前に必ず画像を確認してください。
• ビデオカメラのメニューで「SUPER NS (PLUS)」を「入」にすると、さらに撮影可能距離が長くなります。

IRライトについて
• IRライトを使って撮影した画像には色は付きません。
• IRライトは赤外線のため、目には見えません。発光部は赤く見えることがあります。

使い終わったら
本機の電源スイッチを「OFF」にする。

C ビデオライトを使う

- 暗い場所で自動的に点灯させるとき
1 本機の電源スイッチを「AUTO」にする。
2 ビデオカメラをスタンバイ状態にする。
撮影時、暗い場所では自動的にライトが点灯します。
「AUTO」では、撮影中でも約5分たつと自動的に消えます。
点灯中に消すときは、ビデオカメラを「切（充電）」または本機の電源スイッチを「OFF」にします。
撮影中、常時点灯させる場合は、本機の電源スイッチを「LIGHT」にしてお使いください。

ビデオカメラのスタンバイ状態と連動して点灯させるとき
1 本機の電源スイッチを「LIGHT」にする。
2 ビデオカメラをスタンバイ状態にする。
連動してライトが点灯します。
消すときは、ビデオカメラを「切（充電）」または本機の電源スイッチを「OFF」にします。

使い終わったら
本機の電源スイッチを「OFF」にする。

- ご注意
• ビデオカメラのスタンバイ状態が長いとバッテリーの消耗が早まります。こまめにスタンバイ状態を「切（充電）」にしてください。
• ご使用にならないときは、付属のポーチに収納してください。
• 収納するときは、本機が充分に冷めているのを確認してください。

D 被写体へのライトの当てかた

- 室内撮影などには使用すると、被写体をきれいに写せます。
- 広角の画面撮影時には周辺の光量が不足します。その時は中央の被写体に効果的なスポットライトとしてご使用ください。
- 室内照明が蛍光灯の場合、画像にちらつきができることがあります。ビデオライトを併用すると色ムラが消え、比較的にきれいな画像になります。

E ランプを交換するには

交換用ランプはソニー・センソランプ XB-3Lをお使いください。お買い上げ店またはお近くのソニー・サービス窓口でお求めいただけます。お求めの際は、ソニー・センソランプ XB-3L（A-1099-823-□）をお申し付けください。

- 点灯中に切れた場合はランプ本体が冷えてから交換してください。
1 本体が冷れたことを確認後、コインなどを使ってフロントカバーははずす。
2 ランプを差し替える。
③ 交換用ランプに付属のチューブをランプに差し込み、古いランプを引き抜いてください。

- ④ 交換用ランプを、ランプの根元の差し込み口にまっすぐに差し込んでください。
⑤ ランプが傾かないように、注意してください。
3 フロントカバー両側のツメを差し込み取り付ける。

ご注意
• 点灯中に切れたランプは、高温になっています。ランプが冷えてから交換してください。
• 新しいランプは直接手で触れずに、乾いた布などでくんで取り付けてください。ランプの表面に指紋や汚れが付いたときは、きれいに拭き取ってください。

保証書とアフターサービス

- 保証書について
• この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店でお受け取りください。
• 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
• 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて
調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときは
お買い上げ店、またはテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。当社はビデオIRライトの補修用性能部品（製品の機能を維持するための必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店か、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- 型名：HVL-H1RL
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- お買い上げ日

お問い合わせ窓口のご案内	■テクニカルインフォメーションセンター ご使用上での不明な点や技術的なご質問のご相談、および修理受付の窓口です。 製品の品質には万全を期しておりますが、万一不具合が生じた場合は、「テクニカルインフォメーションセンター」までご連絡ください。修理に関するご案内をさせていただきます。また修理が必要な場合は、お客様のお宅まで指定宅配便にて集荷にうかがいますので、まずお電話ください。 ●ナビダイヤル・・・☎0570-00-0066 （全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます） ●携帯電話・PHSでのご利用は・・・0466-38-0253 （ナビダイヤルが使用できない場合はこちらをご利用ください） 受付時間：月～金曜日 午前9時～午後8時 土、日曜日、祝日 午前9時～午後5時 ※お電話される際、本機の型名（HVL-H1RL）をお知らせください。 より迅速な対応が可能になります。
電話のおかげ 間違いにご注意ください。	
ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1	

English

Active Interface Shoe
This mark indicates the Active Interface Shoe System for use with Sony video products. Video components and accessories equipped with this system are designed to make effective recording simple.

Before operating the unit, please read this manual thoroughly, and retain it for future reference.

WARNING

To prevent fire or shock hazard, do not expose the unit to rain or moisture.

For the Customers in the U.S.A.

THIS DEVICE COMPLIES WITH PART 15 OF THE FCC RULES. OPERATION IS SUBJECT TO THE FOLLOWING TWO CONDITIONS:
(1) THIS DEVICE MAY NOT CAUSE HARMFUL INTERFERENCE, AND
(2) THIS DEVICE MUST ACCEPT ANY INTERFERENCE RECEIVED, INCLUDING INTERFERENCE THAT MAY CAUSE UNDESIRABLE OPERATION.

CAUTION
You are cautioned that any changes or modifications not expressly approved in this manual could void your authority to operate this equipment.

NOTE:
This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:
— Reorient or relocate the receiving antenna.
— Increase the separation between the equipment and receiver.
— Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
— Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

For the Customers in CANADA

THIS CLASS B DIGITAL APPARATUS COMPLIES WITH CANADIAN ICES-003.

Features

- When attached to a camcorder this unit functions as an IR light and a 3 W video light.
- This video IR light is compatible with camcorders that have an active interface shoe attached. The video IR light can therefore receive power via the camcorder.
- Video light ON/OFF is controlled with the camcorder in standby mode. When setting to AUTO, the video light comes on automatically in dark places.
- The IR light can be used on a camcorder with the NightShot (plus) function. Using the IR light, you can record more distant subjects in NightShot (plus) operation.

Precautions

Be careful not to touch the lighting section, because the plastic window and surrounding surfaces are hot while the light is on and just after it is turned off.

- Never look directly at the bulb while the video light is on.
- Avoid placing the video light near combustible or volatile solvents such as alcohol or benzine.
- Do not let any solid object or liquid fall onto or into the video light.
- Do not knock or jolt the video light while it is turned on as it may damage or shorten the life of the bulb.
- Do not leave the video light on while it is resting on or against something; it may cause a fire or damage the video light.
- While using the video IR light, the battery supplies power to both the camcorder and the video IR light. This shortens the operating time of the battery to less than half of the normal time.
- Do not pick up the camcorder by the unit.
- Avoid placing or storing the video IR light in locations that are
— Extremely hot such as in a car parked in the sun

- In areas subject to direct sunlight or sources of high temperature, such as heating device
- Vibrating

On cleaning

Clean the video IR light with a dry soft cloth. You can remove stubborn stains with a cloth lightly dampened with a mild detergent solution, then dry the unit with a soft cloth.
Never use strong solvents, such as thinner, benzene or alcohol, since these will damage the finish on the surface.

Specifications

IR light segment	7.2 V DC
Power requirements	Approx. 2.6 W
Power consumption	Approx. 7 m (23 ft) (NightShot (plus))
Recording distance of the IR light (when the zoom is in the tele end position)	Approx. 20 m (65 ft) (Super NightShot (plus))
Continuous lighting time	

	Lighting duration
Type of battery pack	Used with camcorder (DCR-HC90)*
NP-FA50	45 (40)
NP-FA70	90 (80)

(Approx. minutes using fully-charged battery pack)
* When used with the LCD panel closed. Duration with the LCD panel open is shown in parentheses.

Video light segment	7.2 V
Power requirements	Approx. 3.6 W
Power consumption	6 V DC/3 W
Halogen lamp	Approx. 100 cd
Maximum luminous intensity	Horizontal
Lighting direction	Approx. 15 degrees
Lighting angle	
Continuous lighting time	

	Lighting duration
Type of battery pack	Used with camcorder (DCR-HC90)*
NP-FA50	35 (30)
NP-FA70	70 (60)

(Approx. minutes using fully-charged battery pack)
* When used with the LCD panel closed. Duration with the LCD panel open is shown in parentheses.

Illumination range	Approx. 1 m (3 1/5 ft) (100 lux), Approx. 2 m (6 1/2 ft) (25 lux), Approx. 3 m (9 4/5 ft) (11 lux)
Colour temperature	Approx. 3,000 °K
Average life of bulb	Approx. 100 hours
Dimensions	Approx. 38.5 × 60.5 × 40.5 mm (1 9/16 × 2 1/2 × 1 5/8 in.) (w/h/d)
Mass	Approx. 40 g (1.5 oz.)
Included items	Video IR light (1) Pouch (1) Set of printed documentation

Design and specifications are subject to change without notice.

Attaching or removing the video IR light to a camcorder

Set the power switch of the video IR light to “OFF” before attaching or removing it from the camcorder.

To attach the video IR light

- Make sure that you completely turn the lock knob② counterclockwise①.
- Align the arrow on the rear of the video IR light② with the arrow on the camcorder③.
- Attach the shoe connector (terminal) of the video IR light to the concave part of the camcorder④, and then slide the video IR light in the direction of the arrow⑤.
- Turn the lock knob clockwise until it clicks into place.
- Turn the video IR light to the same direction as the camcorder lens.
The video IR light can be rotated more than 180 degrees.

To remove the video IR light

- Loosen the lock knob by turning it counterclockwise in the opposite direction of the arrow.
- Push down and pull out the video IR light in the opposite direction of the arrow to remove it.

Notes

If you cannot insert the video IR light, turn the lock knob counterclockwise until it reaches the end to cancel the lock.

Shooting in the dark (using the IR light)

The video IR light can be used on a camcorder with the NightShot (plus) function. For details of the NightShot (plus) operation, refer to the operating instructions supplied with the camcorder.

- Set the power switch to “IR LIGHT.”
- Slide the NIGHTSHOT (PLUS) switch on the camcorder to “ON.” The LED on the side of the video IR light lights up
- View the picture in the viewfinder or on the LCD screen, and adjust the brightness by sliding the changeover switch⑥.
The brightness can be adjusted in three stages.

Tips

- When you set “NS LIGHT” to “ON” in the menu system of the camcorder, the built-in IR light of the camcorder will also light up.
- The distance between the IR light and the subject in the dark should be from about 2 m (6 1/2 ft) or more. When the subject is too close, IR light cannot light the subject completely. Since the recording distance will differ depending on the environment, be sure to check the brightness of the picture in step 3 before you start recording.
- When you set “SUPER NS (PLUS)” to “ON,” the recording distance will lengthen.

Notes on IR light

- The picture recorded with the IR light is nearly monochrome.
- IR light is invisible because it is infrared lighting. The emitting section may turn red.

After use

Set the power switch to “OFF.”

Using the video light

To turn on the video light automatically in a dark place

- Set the power switch to “AUTO.”
- Set the camcorder to standby mode.
The video light turns on automatically when using the camcorder in a dark place.
In “AUTO” mode, the video light is turned off automatically after about 5 minutes even during recording.
To turn off the video light when the light is on, switch the camcorder to “OFF (CHG),” or set the video light to “OFF.”
To turn on the video light for the entire recording time, switch the video light to “LIGHT.”

To control the video light with the camcorder in standby mode

- Set the power switch to “LIGHT.”
- Set the camcorder to standby mode.
The video light is turned on in sync with the camcorder.
To turn off the video light, switch the camcorder to “OFF (CHG),” or switch the video light to “OFF.”

After use

Set the power switch to “OFF.”

Notes

- The battery discharges while the camcorder is in standby mode. Be sure to switch from standby to “OFF (CHG).”
- Store in pouch when not in use.
- Make sure the video light has cooled down before storing it.

Lighting up a subject

- When recording indoors with this unit, you can get clear and beautiful color pictures.
- For wide angle shots, the video light may not light the corners of pictures completely. Use the video light for shooting the main subject of the picture effectively.
- Fluorescent lights tend to produce flickering in the recording. Use of the video light may help to produce better pictures with less color blur.

Replacing the lamp

Use the Sony XB-3L xenon lamp. Consult your Sony dealer or local authorized Sony service facility for replacement of xenon lamp XB-3L. Order the following parts number when purchasing the xenon lamp : A-1099-823-□.

The lamp is hot when it has just burned out. Wait until the lamp cools down before removing it.

- Remove the front cover by inserting something like a coin after making sure that the unit is cool enough to handle.
- Replace the lamp.
 - Cover the old lamp with the tube supplied with the new lamp for replacement and pull the tube out to replace the old lamp.
 - Insert the new lamp into the socket straightly.
*Do not tilt the lamp.
- Insert the pawls on the front cover and attach it.

Notes

- The lamp is hot when it has just burned out. Make sure that the lamp is cool enough to handle.
- To prevent the lamp from being smudged with fingerprints, handle it with a dry cloth. If the lamp is smudged, wipe it completely clean.

Français

Active Interface Shoe Ce label indique le système de griffe Active interface shoe conçu pour les produits vidéo Sony. Les caméscopes et accessoires munis de ce label permettent une prise de vues plus simple et efficace.

Avant d'utiliser l'appareil, veuillez lire attentivement ce manuel et conservez-le pour toute référence ultérieure.

AVERTISSEMENT

Afin d'éviter tout risque d'incendie ou d'électrocution, ne pas exposer cet appareil à la pluie ou à l'humidité.

Pour les clients au Canada

CET APPAREIL NUMÉRIQUE DE LA CLASSE B EST CONFORME À LA NORME NMB-003 DU CANADA.

Caractéristiques

- Rattaché à un caméscope, cet appareil sert de lampe IR et de flash vidéo de 3W.
- Cette lampe vidéo IR est compatible avec les caméscopes équipés d’une griffe à interface active. La lampe vidéo IR peut par conséquent être alimentée par le caméscope.
- La lampe vidéo est allumée et éteinte avec le caméscope en mode de veille. En mode AUTO, la lampe vidéo s’allume automatiquement dans les endroits sombres.
- La lampe IR ne peut être utilisée qu’avec un caméscope doté de la fonction NightShot (plus). Avec la lampe IR, vous pourrez filmer des sujets plus éloignés dans le mode NightShot (plus).

Précautions

Veillez à ne pas toucher la section d’éclairage, car la fenêtre en plastique et les surfaces environnantes sont chaudes quand la lampe est allumée et juste après qu’elle a été éteinte.

- Ne jamais regarder directement l’ampoule quand la lampe vidéo est allumée.
- Évitez de poser la lampe vidéo près de combustibles ou de solvants volatils, comme l’alcool ou la benzine.
- Veillez à ne pas laisser tomber de solide ni de liquide sur ou dans la lampe vidéo.
- Ne pas cogner ni secouer la lampe vidéo quand elle est éclairée afin de ne pas l’endommager ou de ne pas réduire la durée de vie de l’ampoule.
- Ne pas laisser la lampe vidéo allumée quand elle est posée sur ou contre quelque chose. Il y a risque d’incendie ou la lampe pourrait être endommagée.
- Quand vous utilisez la lampe vidéo IR, la batterie alimente le caméscope et la lampe vidéo. L’autonomie de la batterie est alors réduite de plus de moitié par rapport à l’autonomie normale.
- Ne pas saisir le caméscope par la lampe vidéo.
- Évitez de poser ou ranger la lampe vidéo IR aux endroits suivants :
 - Endroits exposés à une température extrême, comme dans une voiture garés en plein soleil
 - Endroits exposés à la lumière directe du soleil ou à une source de chaleur, comme un appareil de chauffage
 - Endroits exposés aux vibrations

Nettoyage

Nettoyez la lampe vidéo IR avec un chiffon sec et doux. Vous pouvez enlever les tâches rebelles avec un chiffon légèrement imprégné de détergent neutre, puis essuyez la lampe avec un chiffon doux. N'utilisez jamais de solvant concentré, tel qu'un diluant ou de la benzine, qui risquerait d'abîmer la finition de la surface.

Spécifications

Section lampe IR	
Alimentation	7,2 V CC
Consommation	Env. 2,6 W
Distance de prise de vue avec la lampe IR (lorsque le zoom est en position téléobjectif)	Env. 7 m (23 pi.) (NightShot (plus)) Env. 20 m (65 pi.) (Super NightShot (plus))

Temps d'éclairage continu	
	Temps d'éclairage
Type de batterie rechargeable	Utilisée avec un caméscope (DCR-HC90)*
NP-FA50	45 (40)
NP-FA70	90 (80)
(Env. en minutes avec une batterie rechargeable pleine)	
* Avec le panneau LCD fermé. Le temps avec l'écran LCD ouvert est indiqué entre parenthèses.	

Section Lampe vidéo	
Alimentation	7,2 V
Consommation	Env. 3,6 W
Lampe halogène	6 V CC/3 W
Intensité lumineuse maximale	Env. 100 cd
Direction de l'éclairage	Horizontal
Angle d'éclairage	Env. 15 degrés
Temps d'éclairage continu	

	Temps d'éclairage
Type de batterie rechargeable	Utilisée avec un caméscope (DCR-HC90)*
NP-FA50	35 (30)
NP-FA70	70 (60)
(Env. en minutes avec une batterie rechargeable pleine)	
* Avec le panneau LCD fermé. Le temps avec l'écran LCD ouvert est indiqué entre parenthèses.	

Portée de l'éclairage	Env. 1 m (3 1/5 pi.) (100 lux), Env. 2 m (6 1/2 pi.) (25 lux), Env. 3 m (9 4/5 pi.) (11 lux) Env. 3 000° K
Température de couleur	100 heures
Durée de vie moyenne de l'ampoule	
Dimensions	Env. 38,5 × 60,5 × 40,5 mm (1 9/16 × 2 1/2 × 1 5/8 po.) (l/h/d)
Poids	Env. 40 g (1,5 on.)
Articles inclus	Lampe vidéo IR (1) Pochette (1) Jeu de documents imprimés

La conception et les spécifications peuvent être modifiées sans avis préalable.

A Fixation ou retrait de la lampe vidéo IR sur un caméscope

Réglez le commutateur d'alimentation de la lampe vidéo IR sur « OFF » avant de la fixer ou de la retirer du caméscope.

Pour rattachar la lampe vidéo IR

- Veillez à tourner complètement le bouton de verrouillageⒶ dans le sens antihoraire⓪.
- Alignez la flèche à l'arrière de la lampe vidéo IR⓪ sur la flèche située sur le caméscopeⓑ.
- Fixez le connecteur (la borne) de la lampe vidéo IR sur la partie concave du caméscopeⒸ, puis faites coulisser la lampe vidéo IR dans le sens de la flècheⓑ.
- Tournez le bouton de verrouillage dans le sens horaire, jusqu'à ce que vous entendiez un déclic.
- Orientez la lampe vidéo IR dans la même direction que l'objectif du caméscope. Vous pouvez faire pivoter la lampe vidéo IR à plus de 180 degrés.

Pour retirer la lampe vidéo IR

- Desserrez le bouton de verrouillage en le tournant dans le sens contraire de la flèche.
- Retirez la lampe vidéo IR dans le sens contraire de la flèche en appuyant dessus.

Remarque

Si vous ne pouvez pas insérer la lampe vidéo IR, tournez le bouton de verrouillage dans le sens antihoraire jusqu'au bout pour le débloquer.

B Prise de vue dans l’obscurité (avec la lampe IR)

La lampe vidéo IR peut être utilisée sur un caméscope doté de la fonction NightShot (plus). Pour le détail sur la fonction NightShot (plus), reportez-vous au mode d’emploi du caméscope.

- Réglez le commutateur d'alimentation sur « IR LIGHT ».
- Réglez le commutateur NIGHTSHOT (PLUS) du caméscope sur « ON ».
- Le témoin sur le côté de la lampe vidéo IR s’allume.
- Regardez l'image dans le viseur ou sur l'écran LCD, et ajustez la luminosité en réglant le commutateur de luminositéⓑ. Il y a trois niveaux de réglage de la luminosité.

Conseils

- Lorsque vous réglez « NS LIGHT » sur « ON » dans le menu du caméscope, la lampe IR du caméscope s’allume aussi.
- La distance entre la lampe IR et le sujet dans l'obscurité doit être d'au moins 2 m (6 1/2 pi.). Si le sujet est trop rapproché, la lampe IR ne pourra pas l'éclairer complètement. Comme la distance de la prise de vue change selon l'environnement, vérifiez la luminosité de l'image à l'étape 3 avant de filmer.
- Lorsque vous réglez « SUPER NS (PLUS) » sur « ON », la distance de la prise de vue est plus longue.

Remarques sur la lampe IR

- L'image enregistrée avec la lampe IR est presque monochrome.
- L'éclairage IR est invisible parce que la lampe est infrarouge. La section qui émet les rayons peut devenir rouge.

Après utilisation

Réglez l'interrupteur d'alimentation sur « OFF ».

C Utilisation de la lampe vidéo

Pour utiliser l'éclairage et l'extinction automatiques de la lampe

- Réglez l'interrupteur d'alimentation sur « AUTO ».
- Mettez le caméscope en mode d'attente.
La lampe vidéo s'allume automatiquement quand vous utilisez le caméscope dans un lieu sombre.
En mode « AUTO », la lampe vidéo s'éteint automatiquement après 5 minutes environ, même en cours d'enregistrement.
Pour éteindre la lampe vidéo lorsque la lampe est allumée, réglez le caméscope sur « OFF (CHG) » ou réglez la lampe vidéo sur « OFF ».
Pour allumer la lampe vidéo pendant toute la durée d'enregistrement, réglez la lampe vidéo sur « LIGHT ».

Pour allumer et éteindre la lampe quand le caméscope est en attente

- Réglez l'interrupteur d'alimentation sur « LIGHT ».
- Mettez le caméscope en mode d'attente.
La lampe vidéo s'allume en même temps que le caméscope.
Pour éteindre la lampe vidéo, réglez le caméscope sur « OFF (CHG) », ou réglez la lampe vidéo sur « OFF ».

Après utilisation

Réglez l'interrupteur d'alimentation sur « OFF ».

Remarques

- La batterie se décharge lorsque le caméscope est en mode d'attente.
- Annulez le mode d'attente en réglant le caméscope sur « OFF (CHG) ».
- Rangez la lampe dans sa pochette quand vous ne l'utilisez pas.
- Assurez-vous que la lampe vidéo est froide avant de la ranger.

D Eclairage d'un sujet

- Si vous filmez en intérieur avec la lampe vidéo, vous obtiendrez des images nettes avec de belles couleurs.
- Lors de la prise de vues en grand angle, la lampe vidéo ne pourra peut-être pas éclairer complètement les angles de l'image. Utilisez la lampe vidéo pour bien éclairer et filmer le sujet principal de l'image.
- Les lampes fluorescentes ont tendance à produire un vacillement de l'image. L'utilisation de la lampe vidéo peut améliorer les images en accentuant la netteté des couleurs.

E Remplacement de l’ampoule

Utilisez la lampe au xénon XB-3L de Sony. Contactez votre revendeur Sony ou un service après-vente agréé Sony pour remplacer la lampe au xénon XB-3L. Pour l'achat d'une lampe au xénon, commandez les références de pièce suivantes : A-1099-823-□. L'ampoule est brûlante quand elle vient d'être éteinte. Laissez-la refroidir avant de l'enlever.

- Une fois que l'appareil a suffisamment refroidi, retirez le panneau avant en insérant un objet tel qu'une pièce de monnaie.
- Remplacez la lampe.
 - Recouvrez l'ancienne lampe à l'aide du tube fourni avec la lampe neuve de rechange et tirez le tube pour remplacer l'ancienne lampe.
 - Insérez la lampe neuve bien droite dans la douille.
* Ne penchez pas la lampe.
- Insérez les cliquets du panneau avant et fixez-le.

Remarques

- L'ampoule reste chaude un moment après avoir été éteinte. Assurez-vous que l'ampoule est suffisamment froide avant de la sortir.
- Pour éviter de laisser des traces de doigts sur l'ampoule, tenez l'ampoule avec un chiffon sec. Si l'ampoule est sale, essuyez-la bien.

Español

Active Interface Shoe Esta marca indica el sistema de zapata de interfaz activa para utilizarse con productos de vídeo Sony. Los componentes y los accesorios de vídeo provistos de este sistema han sido diseñados para facilitar la videofilación efectiva.

Nombre del producto: Lámpara IR para vídeo
Modelo: HVL-H1RL

POR FAVOR LEA DETALLADAMENTE ESTE MANUAL DE INSTRUCCIONES ANTES DE CONECTAR Y OPERAR ESTE EQUIPO.

RECUERDE QUE UN MAL USO DE SU APARATO PODRÍA ANULAR LA GARANTÍA.

Antes de utilizar la unidad, lea detenidamente este manual, y consérvelo para futuras referencias.

ADVERTENCIA

Para evitar incendios o descargas eléctricas, no exponga la unidad a la lluvia ni a la humedad.

Características

- Fijada a una videocámara, esta unidad funcionará como lámpara IR (rayos infrarrojos) y lámpara para vídeo de 3W.
- Esta lámpara IR para vídeo es compatible con videocámaras que tengan fijada una zapata de interfaz activa. De esta forma, la lámpara IR para vídeo podrá recibir alimentación de la videocámara.
- La conexión/desconexión de la alimentación de la lámpara para vídeo se controla con la videocámara en el modo de espera. Cuando haya ajustado a AUTO, la lámpara para vídeo se encenderá automáticamente en lugares oscuros.
- La lámpara IR podrá utilizarse en una videocámara con función NightShot (escena nocturna) (plus). Utilizando esta lámpara IR, podrá grabar motivos más distantes en la operación NightShot (plus).

Precauciones

Tenga cuidado de no tocar la sección de iluminación, porque la ventanilla de plástico y las superficies circundantes estarán calientes cuando la lámpara esté encendida e inmediatamente después de haberla apagado.

- No mire directamente hacia la bombilla cuando la lámpara para vídeo encienda.
- Evite colocar la lámpara para vídeo cerca de combustibles o disolventes volátiles, como alcohol o bencina.
- No permita que dentro de la lámpara para vídeo entre ningún objeto sólido ni líquido.
- No golpee ni sacuda la lámpara para vídeo mientras esté encendida, ya que podría dañarla o acortar la duración de la bombilla.
- No deje la lámpara para vídeo encendida sobre ni apoyada contra nada, porque podría provocar un incendio o dañarla.
- Mientras esté utilizando la lámpara IR para vídeo, la batería alimentará tanto la videocámara como la propia lámpara IR para vídeo. Esto acortará el tiempo de operación de la batería a menos de la mitad del normal.
- No tome la videocámara por la cabeza de la unidad.
- Evite colocar o guardar la lámpara IR para vídeo en lugares
 - Extremadamente cálidos, como en un automóvil estacionado bajo el sol
 - Sometidos a la luz solar directa o a fuentes de gran temperatura, como aparatos de calefacción
 - Sometidos a vibraciones

Limpieza

Limpie la lámpara IR para vídeo con un paño suave y seco. Usted podrá eliminar las manchas difíciles con un paño ligeramente humedecido en una solución muy diluida de detergente, y después secándola con un paño suave.

No utilice nunca disolventes fuertes, como diluyente de pintura, bencina, o alcohol, ya que éstos podrían dañar el acabado de la superficie.

Especificaciones

Segmento de la lámpara IR	
Alimentación	cc 7,2 V
Consumo	Aprox. 2,6 W
Alcance de videofilación de la lámpara IR (cuando el zoom esté en la posición del extremo de telefono)	Aprox. 7 m (NightShot (plus)) Aprox. 20 m (Super NightShot (plus))

Tiempo de iluminación continua	
	Duración de iluminación
Tipo de batería	Utilizada con la videocámara (DCR-HC90)*
NP-FA50	45 (40)
NP-FA70	90 (80)

(min. aproximados utilizando una batería completamente cargada)
* Cuando se utilice con el panel LCD cerrado. La duración con la pantalla de cristal líquido abierta se muestra entre paréntesis.

Segmento de la lámpara para vídeo	
Alimentación	7,2 V
Consumo	Aprox. 3,6 W
Lámpara halógena	cc 6 V/3 W
Intensidad luminosa máxima	Aprox. 100 candelas
Dirección de iluminación	Horizontal
Ángulo de iluminación	Aprox. 15 grados
Tiempo de iluminación continua	

	Duración de iluminación
Tipo de batería	Utilizada con la videocámara (DCR-HC90)*
NP-FA50	35 (30)
NP-FA70	70 (60)
(min. aproximados utilizando una batería completamente cargada)	
* Cuando se utilice con el panel LCD cerrado. La duración con la pantalla de cristal líquido abierta se muestra entre paréntesis.	

Alcance de iluminación	Aprox. 1 m (100 lux), Aprox. 2 m (25 lux) Aprox. 3 m (11 lux) Env. 3 000° K
Temperatura de dolor	Aprox. 38,5 × 60,5 × 40,5 mm (an/al/prf)
Duración media de la bombilla	Aprox. 100 horas
Dimensiones	Aprox. 40 g
Masa	Lámpara IR para vídeo (1)
Elementos incluidos	Bolsa transporte (1) Juego de documentación impresa

El diseño y las especificaciones están sujetos a cambio sin previo aviso.

A Montaje o desmontage de la lámpara IR para vídeo en una videocámara

Antes de montar la lámpara IR para vídeo en la videocámara o desinstalarla de ella, ponga su interruptor de alimentación en “OFF”.

Para montar de la lámpara IR para vídeo

- Cerciórese de girar completamente hacia la izquierdaⒶ el mando de bloqueoⓑ.
- Alinee la flecha de la parte posterior de la lámpara IR para vídeoⒸ con la flecha de la videocámaraⓑ.
- Fije el conector (terminal) de la zapata de la lámpara IR para vídeo a la parte cóncava de la videocámaraⓑ, y después deslice la lámpara IR para vídeo en el sentido de la flechaⓑ.
- Gire el mando de bloqueo hacia la derecha hasta que chasquee en su lugar.
- Gire la lámpara IR para vídeo en el mismo sentido que el del objetivo de la videocámara.
La lámpara IR para vídeo podrá girarse más de 180 grados.

Para desmontar la lámpara IR para vídeo

- Afloeje el mando de bloqueo girándolo hacia la izquierda en sentido opuesto al de la flecha.
- Empuje hacia abajo la lámpara IR para vídeo en sentido opuesto al de la flecha para desmontarla.

Nota

Si no puede insertar la lámpara IR para vídeo, gire el mando de bloqueo hacia la izquierda hasta que llegue al final para desbloquearla.

B Videofilación en la oscuridad (utilizando la lámpara IR)

La lámpara IR para vídeo podrá utilizarse en una videocámara con función NightShot (plus). Con respecto a los detalles sobre la operación NightShot (plus), consulte el manual de instrucciones suministrado con la videocámara.

- Ponga el interruptor de alimentación en “IR LIGHT”.
- Deslice el interruptor NIGHTSHOT (PLUS) de la videocámara hasta “ON”.
- El LED de la parte lateral de la lámpara IR para vídeo se encenderá.
- Contemple la imagen en el visor o en la pantalla LCD, y ajuste el brillo deslizando el selectorⓑ.
El brillo podrá ajustarse en tres etapas.

Sugerencias

- Cuando ajuste “NS LIGHT” a “ON” en el sistema de menús de la videocámara, la lámpara IR incorporada de la videocámara también se encenderá.
 - La distancia entre la lámpara IR y el motivo en la oscuridad deberá ser de unos 2 m o más. Cuando el motivo esté demasiado cerca, la lámpara IR no podrá iluminarlo completamente. Como la distancia de videofilación difierirá dependiendo del entorno, cerciórese de comprobar el brillo de la imagen en el paso 3 antes de iniciar la grabación.
 - Cuando ajuste “SUPER NS (PLUS)” a “ON”, la distancia de videofilación aumentará.
- Notas sobre la lámpara IR**
- Las imágenes tomada con la lámpara IR serán prácticamente monocromas.
 - La luz IR es invisible, porque es infrarroja. La sección de emisión puede volverse roja.

Después de la utilización

Ponga el interruptor de alimentación en “OFF”.

C Utilización de la lámpara para vídeo

Para que la lámpara para vídeo se encienda automáticamente en un lugar oscuro

- Ponga el selector de alimentación en “AUTO”.
- Ponga la videocámara en el modo de espera.
La lámpara para vídeo se encenderá automáticamente cuando utilice la videocámara en un lugar oscuro.
En el modo “AUTO”, la lámpara para vídeo se apagará automáticamente después de unos 5 min incluso durante la grabación.
Para apagar la lámpara para vídeo cuando esté encendida, ajuste la videocámara a “OFF (CHG)”, o ponga el interruptor de la lámpara para vídeo en “OFF”.
Para mantener encendida la lámpara para vídeo durante toda la grabación, ponga su interruptor en “LIGHT”.

Para controlar la lámpara para vídeo con la videocámara en el modo de espera

- Ponga el selector de alimentación en “LIGHT”.
- Ponga la videocámara en el modo de espera.
La lámpara para vídeo se encenderá en sincronización con la videocámara.
Para apagar la lámpara para vídeo, ponga de la videocámara en “OFF (CHG)” o el interruptor de alimentación en “OFF”.

Después de la utilización

Ponga el interruptor de alimentación en “OFF”.

Notas

- La batería se descargará con la videocámara en el modo de espera.
- Cuando no vaya a utilizarla, cambie el modo de espera a “OFF (CHG)”.
- Cuando no vaya a utilizarla, guárdela en la bolsa de transporte.
- Antes de guardar la lámpara para vídeo, cerciórese de que se haya enfriado.

D Iluminación de un motivo

- Cuando videofilme en interiores con esta unidad, podrá obtener imágenes claras y de hermosos colores.
 - Para tomas en gran angular, es posible que la lámpara para vídeo no ilumine completamente las esquinas de las imágenes. Utilice la lámpara para vídeo para videofilmar efectivamente el motivo principal de la imagen.
 - Las luces fluorescentes tienden a producir parpadeo en la videofilación. La utilización de la lámpara para vídeo puede ayudar a conseguir mejores imágenes con menos difuminación de los colores.
- E Reemplazo de la bombilla**
- Utilice una bombilla de xenón XB-3L Sony. Para reemplazar la bombilla de xenón XB-3L, consulte a su proveedor Sony o a un centro de reparaciones autorizado por Sony. Utilice el número de pieza siguiente cuando adquiera una bombilla de xenón: A-1099-823-□.
- La bombilla estará caliente inmediatamente después de haberse fundido. Espere a que la bombilla se haya enfriado antes de extraerla.

- Quite la cubierta frontal utilizando algo como una moneda después de asegurarse de que la unidad se haya enfriado suficientemente como para poder manejarla.

2 Reemplace la bombilla

- Cubra la bombilla vieja con el tubo suministrado con la nueva bombilla para reemplazo y tire del tubo para reemplazar la bombilla vieja.
- Inserte de forma recta la nueva la bombilla en el casquillo.
* No incline la bombilla.
- Inserte las uñas de la cubierta frontal y fijela.

Notas

- La bombilla estará caliente después de haberse fundido. Cerciórese de que esté suficientemente fría antes de tocarla.
- Para evitar que la bombilla se manche con huellas dactilares, tómelala con un paño seco, etc. Si la bombilla se ha manchado, frótele para limpiarla completamente.

此标识 表明本产品为用于 Sony 视频产品的有源接口端系统。使用配有本系统的视频部件和附件可轻松进行摄影。

在使用此装置之前，请详阅阅读本使用说明书，并妥善保存以备将来参考。

警告

为了防止火灾或触电的危险，请不要让本装置遭雨淋或受潮。

特性

- 本装置装于摄像机上，用作红外摄影灯和 3W 摄影灯。
- 本红外摄影灯与配备有源接口端的摄像机兼容。由摄像机给红外摄影灯供电。
- 摄影灯 ON/OFF 可在待机方式下控制。当设定为 AUTO 时，摄影灯在黑暗处会自动点亮。
- 本红外摄影灯可用于带 NightShot (plus) 功能的摄像机。您可以进行 NightShot (plus) 操作，拍摄更远距离的对象。

注意事项

注意不要碰触摄影灯部分，因为塑料窗及其周围表面在灯点亮或刚关闭时很烫。

- 摄影灯点亮时，请勿直接对着灯看。
- 避免将摄影灯放置在诸如酒精或汽油等易燃或易挥发的溶剂附近。
- 切勿将任何物体置于摄影灯上或使液体进入其内部。
- 当摄影灯点亮时切勿敲打或摇晃之，否则可能会导致其损坏或缩短灯泡寿命。
- 当摄影灯放在其它物品上或对着这些物品时，请关掉摄影灯，否则有可能会造成火灾或损坏摄影灯。
- 当使用红外摄影灯时，电池将同时给摄像机和红外摄影灯供电，这会使电池的使用时间降低到正常使用时间的一半以下。
- 切勿抓住摄影灯来拿起摄像机。
- 请勿在下述地方放置或保存红外摄影灯
 - 极热的地方，例如，太阳照射的车内
 - 阳光直射靠近高温热源（例如加热装置）的地方
 - 有振动的地方

有关清洁的注意事项

请用干软布来清洁红外摄影灯。您可以用布稍沾上一些中性的清洁济来擦去较难去除的污垢，然后用软布将其擦干。切勿使用烈性的清洁剂，如稀释剂、汽油或酒精等，因为这些溶剂会损坏表面的保护层。

规格

红外摄影灯部分	
电源要求	7.2 V 直流
功耗	约 2.6 W
红外摄影灯的拍摄距离（变焦处于远摄端时）	约 7 m（NightShot (plus)） 约 20 m（Super NightShot (plus)）
连续照明时间	

	照明时间
电池组的种类	用于摄像机 (DCR-HC90)*
NP-FA50	45 (40)
NP-FA70	90 (80)
(利用充足电的电池时摄像机所能使用的大约时间)	
* 当用于液晶显示器关闭时。液晶显示器开启时的持续时间标于括号内。	